

- ・ 概念ERDをもとにして、「システム機能定義」で定義した処理要件を考慮して、論理ERDを作成する。
- ・ 実装するDBMSを意識して、パフォーマンスや保守性を十分に考慮したデータ構造を表現する。
- ・ 実装時のテーブル名やデータ型についても表記する。

